

令和4年度 国富町立八代中学校 学校関係者評価

4段階評価 4—十分達成できた 3—概ね達成できた 2—あまり達成できなかった 1—まったく達成できなかった

項目	具体的な行動内容と数値目標	自己評価	学校の自己評価結果コメント	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
学習指導	1 教科のプロとして指導力の向上を目指し、「一人一実践」による授業改善や研究授業等に全職員で取り組み、生徒一人一人の学力向上を図る。	3.3	・諸テストの結果分析をもとに、各教科で授業改善をはかった。特に全教科でICTを活用した授業を実践した。 ・特に3学年保護者の評価が高く、3年間で学力が向上したと感じている。 ・小学校との授業の相互参観を取り入れ、連携を図ることもできた。	4	・宅習プリント、とても良いことだと思いました。これに生徒が選ぶ「基本のみのプリント」「発展プリント」があるといいのかなと思いました。
	2 「わかった」「できた」を実感させるために、生徒に学ぶ喜び、達成感、成就感、を与えることのできる授業の工夫・改善を目指す。	3.1	・1、3年生の評価が高く、2年生の評価が落ち込んでいる。しかし、2年生の諸テストの結果は良いため、学力への関心の高さから、さらに上を目指しているとも言える。 ・教科によって差があるという回答もあるため、真摯に受け止め、今後も授業改善に取り組んでいきたい。	3.7	・ICTを活用した学習が広く行われるようになり、生徒たちの学習意欲が高まり、学力が向上していることを嬉しく思います。キャリア教育も含めて保護者評価が高かったことから、親・子ともに学習指導に対する満足感が得られているのではないかと思います。
	3 学力の向上を図るため、学校と家庭との連携のもと、学年に応じた家庭学習時間を確保することを目指す。	2.6	・本年度は2学期より宅習をノートからプリントへ変更した。生徒には好評であるが、保護者ももっと多くの課題を出してほしいという要望がある。 ・プリントの内容（現在は基本・発展をセットにして両面印刷）も更に工夫改善していきたい。	3.3	・宅習スタイルの改善、学校図書館の新たな取組など、生徒の学習環境が更に整えられ、今後の更なる成果に大きな期待を寄せているところです。
	4 家庭と連携して家読（うちどく）の推進を図り、全員の生徒が少なくとも毎月1冊の良書を読書することを目指す。【毎月15日「読書の日」】	2.6	・読書推進活動拠点校として、本年度は図書担当事務職員が配置され、さまざまな取組を行った。（図書館設営・図書だより・図書館祭り・新刊案内・読書の日） ・一人年間20冊という目標に向けて取り組み、1年生は達成、全学年で約80%達成。	3.3	・生徒たちも全体的に落ち着いており、様々な行事を通して社会力が培われているのだらうと思います。
	5 キャリア教育の具体的な推進により、生徒一人一人に夢と希望を持たせ、自分の将来へ向けての生き方を考えさせ、学習への意欲を高める。	3.3	・進路に向けた取組が増えていくため学年を上がるにつれて評価が高くなる。 ・1年生から将来へ向けた計画的なキャリア教育を推進していく必要がある。	3.3	
	6 各種作品応募等に積極的に取り組ませることで、生徒の自信や感性を高め表現力を育む。	3.3	・作文や書道、美術作品等を積極的に応募し、県レベルの入賞が多数あった。 ・ビブリオバトルを年3回実施し、生徒たちの表現力も向上してきている。	3.7	
生徒指導	1 生徒会や委員会活動、ボランティア活動等の推進と活性化を図り、自ら考え主体的に行動できる生徒を育成する。	2.9	・今年度新たに取り入れた「古着ボランティア」も評価され、「ボランティア・スピリット・アワード」のコミュニティ賞を5年連続受賞でき、生徒たちの更なるやる気に繋がっている。	3.7	・生徒指導の項目の中で、1のボランティアに関する内容の自己評価が最も低かったことから、取り組んでいる生徒と、そうでない生徒の差が大きいのではと感じました。しかし、コミュニティ賞の連続受賞は八代中の輝かしい伝統であり、地域の財産でもあると思います。
	2 時と場に応じた言動がとれている生徒が95%以上となることを目指す。【毎月1日「あいさつの日」】	3.0	・毎月1回の「小中合同あいさつ運動」はコロナの関係で合同ではなく単独で行ったが、生徒は積極的に参加できている。 ・日常の挨拶を自分からするという姿勢がもう少し欲しいと感じている。	3.7	・我が家の前を通る生徒はよく挨拶できている。
	3 生徒理解の深化と情報の共有化を図り、全職員で積極的な生徒指導を行う。	3.1	・毎週水曜日を生徒理解の日として、不登校傾向の生徒やちょっとした変化を見逃さないよう報告をしている。 ・月に1回「いじめ・不登校・特別支援委員会」を実施し、一ヶ月の動向や変容等を報告し、今後の方針等を確認し合っている。	3.7	
	4 学校や学級生活が楽しいと答える生徒が90%以上になることを目指す。	3.1	・コロナ禍にありながらも、各種行事をすべて実施することができた。 ・行事を経験する中で、生徒一人一人が役割を果たしたり、触れ合ったりすることができた。	4	
	5 いじめの根絶を目指すとともに、問題行動等の未然防止に努め、不登校生については、学校、家庭、関係機関等との連携を深め、生徒の社会的な自立のために積極的な支援を図る。	3.2	・毎月1回、学校生活に関するアンケートを実施し、気になる回答の生徒には必ず話を聴くようにしている。また、指導が必要な場合も、その後一定期間観察をしながら変容を見守っている。	3.7	
	6 一人一人の生徒を大切に教育相談活動の充実を図る。	3.6	・年2回の教育相談では、全生徒が必ず面談をする場を設定している。 ・学担はもちろん、養護教諭や管理職も生徒と面談する機会がある。	3.7	
保健安全指導	1 体力テストの結果を分析し、学年の実態や個人の課題を明確にした体力向上プランを作成し体力の増進のために実践化を図る。	2.8	・体力の低下が心配されているが、体育の授業には積極的に取り組んでいる。 ・体育大会や遠足でのダンス披露に熱心に取り組んだ。	3	・毎年あげられる坂道での自転車転倒によるケガを防ぐため、町のサポートが得られたらと思います。
	2 PTA活動や家庭と連携しながら、家庭における「早寝・早起き・朝ごはん」の実施率90%以上を目指すとともに、自力で登下校する生徒の増加を図る。	2.5	・「早寝・早起き・朝ごはん」に関しては常時指導に留まり、具体的な手立てをとることができなかった。 ・地理的な状況もあり、自力登校は少ない。	3	・自力登校が増えれば、体力テストの結果も良くなるのでしょね。 ・トルコと同じ地震国の日本、避難訓練の実施は必要なのでよかったです。
	3 食育を推進するために「弁当の日」の実施や食に関する指導の充実を図ることにより、生徒が食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるようにする。	3.0	・本年度の「弁当の日」は3月10日に実施予定。家庭科の授業において、町の栄養教諭との事前指導を行う。 ・夏休みには全学年とも家庭で調理したものをレポートで提出し、保護者からも「よく取り組んでいる」との感想をもらっている。	3.7	
	4 保健・安全教育を推進し危機回避能力を高めるとともに、自他の生命を尊重する態度を育成する。	3.3	・年に一回、本年度は7月に「命を大切にする授業」を実施、犯罪被害者の講話を聞いた。 ・9月と1月に避難訓練を実施した。9月は仙台から講師を呼び、災害への備えや、東日本大震災後の中学生のボランティア活動について講話を聞き好評であった。	4	
	5 生徒の交通安全に対する意識の高揚を図る。特に、自転車事故を防ぐための指導を徹底する。	3.3	・自転車による転倒のケガが2件起きた。事故防止に努めていきたい。 ・毎月1回自転車点検を行っている。ヘルメットやタスキの着用状況は良好である。	3.7	
事務処理	1 文書、情報、公印については、各取扱要領により適切に処理するとともに諸帳簿等の適正な記入・点検・管理・保管を行う。	3.5	・点検等も実施しており、事務室・教職員とも適切に処理している。	3.7	・適切な処理・管理がなされていると思います。
	2 学校の実態に即した備品の購入を推進するとともに、諸行事等に応じた教育活動を生かすため、予算の効率的な執行に努める。	3.5	・担当職員と連携し、計画的な物品の購入ができるよう努めた。	3.7	
	3 学校徴収金を正確に処理し、適正な執行に努め、年度内に会計処理を完了する。	3.5	・校納金遅延の際は、保護者に連絡を取り、期限内の納入を促した。	3.7	
	4 学籍事務、就学援助事務の取扱については、速やかに適切に処理する。	3.5	・事務職員及び管理職で点検しながら適切に処理できた。	3.7	
	5 施設・設備の迅速な補修・修理に努める。	3	・台風の際の雨漏り等も、すぐに町教委に連絡し対応してもらった。 ・毎月校内の安全点検を実施しており、補修や修理を行っている。	3.3	